



令和3年9月14日
第二管区海上保安本部

令和3年は、海図150周年！ ～with コロナの新しい形を目指して デジタルパネル展を開催～

海図は、船舶が安全に効率的に航海できるよう、水深、暗礁などの水路の状況、灯台などの航路標識、船舶の運航に必要な情報を掲載している「海の地図」です。

令和3年（2021年）は、明治4年^{※注}（1871年）に我が国が単独で、近代技術をもって、海洋調査から海図作製までを一貫して行う本格的な水路業務を開始して150周年を迎える記念の年で、海洋国家日本の発展とともに海図の歴史を刻んできました。

第二管区海上保安本部では、海図150周年記念事業として、東北管内において順次パネル展を展開していく予定としておりましたが、新型コロナウイルス感染防止対策の観点から、一部公開を中止することとなったため、コロナ渦でも身近にパネル展に参加いただけるよう、第二管区海上保安本部HP内において、デジタルパネル展を開催することといたしました。

明治初期から海図作製における150年のあゆみや最新の調査技術による海洋調査に触れ、海図を通じた日本の発展を感じていただければと思います。

○デジタルパネル展URL

<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN2/150kinen/digital/index.html>

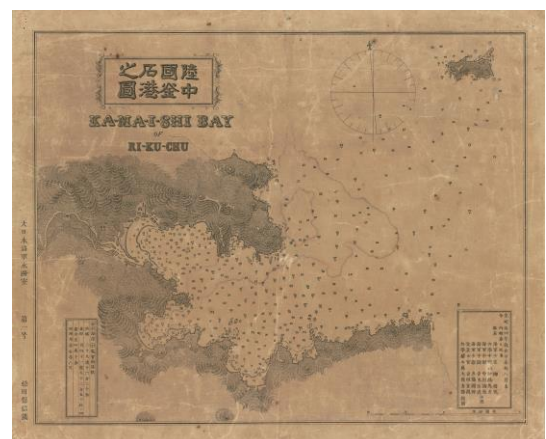
海上保安庁ツイッターにて、海図150周年の歴史が学べる投稿も行っています。

https://mobile.twitter.com/jcg_koho



○主な展示内容

- ・ 海洋情報部150年のあゆみ
- ・ 航海安全のための海洋調査
- ・ 海洋権益確保のための海洋調査
- ・ 測量船の紹介
- ・ 航空機による海洋調査
- ・ 初代水路部長「柳 檣悦」^{やなぎならよし}
- ・ 海図第一号「陸 中 國 釜 石 港 之 圖」^{りくちゅうのくにかまいしこうのず}
- ・ 東北管内の主要港における海図の変遷



「陸中國釜石港之圖」

※注：

明治4年（西暦1871年）9月12日（旧暦7月28日）に兵部省海軍部に水路局（後の水路部、現在の海洋情報部）が設置されたことを記念してこの日を水路記念日としています。この水路局設置により我が国の本格的な海洋調査・海図作製が始まりました。